株式会社utuwa

所在地：京都市下京区仏光寺通富小路西入ル仏光寺東町115
TEL：075-365-2262
HP：http://ouchinakashimaya.com/
SNS：https://www.instagram.com/ouchi_nakashimaya/
取材日：2024／12／26

utuwa

ホームページ

OUCHI_NAKASHIMAYA

Instagram

社長インタビュー

株式会社utuwa　代表取締役　中島健介（なかしまけんすけ）

Profile

出身地	：兵庫県豊岡市	学生時代の部活動	：バスケットボール
出身校	：豊岡高校	好きなスポーツ	：野球観戦
生年月日	：1984.5.8	好きな本	：七つの習慣
趣味	：読書、バスケットボール	好きな言葉	：原理原則
血液型	：A型	得意な料理	：料理作れません（笑）

Q：中島社長、今日はよろしくお願いします。まず最初に株式会社utuwaの事業内容から聞かせて頂けますでしょうか？



2013年7月に「おうちごはん中島家」を創業し、現在は京都市内に６店舗を運営している会社になります。スタッフさんがお野菜中心のお店をやりたい！ということであればその通りのお店に。お出汁の魅力を全面に打ち出していきたい！ということであればその通りのお店に。そんな具合でこれまではスタッフさんのやりたいことを実現してきた会社でした。今後は「京都でおばんざいといえばutuwa！」と思っていただくためにコンセプトをおばんざいメインで統一し、京都市内に集中して出店するドミナント出店をしていこうと考えている会社になります。

Q：ありがとうございます。とても勢いのある会社なんですね！そんな会社を率いる中島さんですが、どんな出来事がキッカケになって創業されたのでしょうか？

どん底から這い上がるためだったんですよ。今から17年前にとある居酒屋で働くことになるのですが、そこで仕事ができなかった僕は、社長から毎日ぼろくそに怒られていたんですね。とても悔しい思いをし、それでもなんとか頑張ろうとするのですが、辛いことは続くもので、当時お付き合いしていた女性とも別れることになってしまったんです。初めて味わう人生のどん底でした。結果、仕事をやめ一時はニートのような状態になったんですが、このまま沈んでいるわけにはいかない！そう思って独立を目指すことにしたんです。もちろん、そこで飲食以外の道に進む選択肢もありました。しかし、それまでずっとこの仕事をしてましたし、どうせやるなら！ということでこの道での独立を目指したんです。



Q：そんな辛い状況を乗り越え今の中島さんがお有りなんですね。中島さんはどんな想いをもって創業されたのでしょうか？今も変わらない大切にしている考え方があればお聞かせください。

スタッフさんと一緒に幸せになりたい。そう想って創業し、それは今もなお変わっておりません。でも想いだけで幸せになれるならそんな簡単なことはありませんよね。ですので僕の役割は価値のあるお店を作ることだと思っています。価値あるお店とは簡単にいうとお客さまに喜んでいただけるお店のことです。オープン前は、どうコンセプトを設計すればお客さまに喜んでいただけるのか。オープンした後は、その喜んでいただいたお声をどうすれば口コミに書いてもらえるのか。その答えを飲食店経営者の仲間との積極的な情

社長インタビュー

報交換によって仕入れ、自社に取り入れるようにしています。そうやってお店の土台づくりをし、その上にスタッフさんの個性がのることで、一緒になって幸せになれるお店づくりができると僕は考えております。



Q：とはいえ、現在６店舗を運営され、今後のドミナント出店を考えると場合によってはスタッフさんの幸せより売上などの金銭面が優先されかねませんよね。その辺りはどうお考えでしょうか？

それは幸いなさそうですね（笑）。なぜなら一緒にいるみんなの幸せが僕の幸せだからです。お金じゃないんですよ。僕だけが幸せになるとか、僕以外のみんなだけが幸せになるといった、幸せの境界線みたいなものが僕にはないんですね。その幸せの輪の中に僕も一緒になって入って、内側からみんなとその輪を広げて共に幸せになっていきたいと思っています。

Q：その輪の中にお客さまも一緒になって入り広がっていくことで「京都でおばんざいといえばutuwa！」そのビジョンが現実のものとなるのかも知れませんね！さて、この辺りから読者の方が気になりそうなことを伺っていこうと思います。御社に入社した新しい仲間の方は、まずどんなことから取り組み始めるのでしょうか？

どんなことをすればお客さまに喜んでいただけるのか。まずはそこを知ってもらうところからですね。そのためには接客やサービスから学ぶ、なんてことが一般的かと思いますが弊社は違います。入社する前に、新しい仲間になる方をお店にご招待し、お食事をしていただくんです。目的はシンプルでお客さまとして自分が働くお店を楽しんでいただくことです。これから働くお店の何がどう楽しかったのかを身をもって体験していただき、今後に活かしていただきたいと思っております。

Q：なるほど！素晴らしい取り組みですね！中長期的にはいかがでしょうか？

社員から店長になり、そのスタッフさんのやりたい店を作ってもらう。この今までの流れを一旦ストップしようと考えています。スタッフさんのやりたいことって言い換えれば、個性を活かすってことですよね。その個性が今まではお店に活かされていたわけですが、それを役職に活かしてほしいと思っております。



ドミナント出店をするということはそれだけ役職が増えることになります。役職者と聞くと責任の範囲すべてを任されるイメージを持たれるかも分かりませんが、そうではなく、販促などのデザインに強い役職者、料理に長けている役職者、出店や企画に長けている役職者、といった具合にそれぞれの個性を活かした役職制度にしようと思っております。

Q：ありがとうございます。少し話の色が変わりますが、御社の強みについてお聞かせください。

価値あるお店づくりができるだけの基礎力があるところです。コンセプトを統一してドミナント出店していくということは、言い換えるとお店の価値を次のお店にコピーする、ということです。であればコピーされる元のお店にお客さまを満足させられるだけの価値がなければなりません。その価値が僕の考える基礎力ですね。お客さまを満足させられるだけの価値とは裏を返すと、お客さまを悲しませないということです。京都は観光地です。せっかくのご旅行で当店に立ち寄られガッカリされないようにお客さまを悲しませない基礎力があることが最大の強みだと思っています。

Q：ここで、中島さんの考える飲食業の素晴らしさとはどんなものなのか、お聞かせください。

人間力が磨かれるところです。この仕事は経営的な目線でいえば出店場所、ターゲット設定、広告宣伝など。現場的な目線では、仕入れからメニュー開発、スタッフさんへのフォローなど、すべてを自分たちでやります。なので自分の想いを形にできるんですね。もちろん一人ではできないのでチームワークで形にしていきます。その過程で人間力が磨かれるんです。だからおのずとプライベートもうまくいくようになるんですよね。ほんとに素晴らしい仕事ですよ！

Q：ありがとうございます。最後に読者の皆さまへメッセージをお願いします。

ぜひ、私たちと一緒にこの仕事を楽しみましょう！

スタッフインタビュー

株式会社utuwa　マネージャー　上田良（うえだりょう）



Q：続いてマネージャーの上田さん、よろしくお願いします。まず最初に上田さんのお仕事内容からお聞かせください。

お店を運営する上で起きるあらゆる問題の解決にあたっています。例えば人と人との間で起きる問題です。各店、コンセプトが違うせいもあってか「あの人かあーだ、こうだ」みたいなことが起きやすいんですよね。そんな日々起こる問題を、視野を広げて解決にあたっています。

Q：ありがとうございます。2015年3月入社と伺っていますが、どのような経緯だったのでしょうか？

入社前、僕はとある食品メーカーに就職し、品質管理をする部署に配属されました。品質管理といっても遠隔で行うクレーム対応ばかりで、お客さまのお顔をみて出来る仕事だと思って入社したのですが、それが出来なくてモヤモヤしていたんですよね。しかも勤務先は、なんと中国です。言葉の壁もあって一人ぼっちになることも少なくなかったんです。そんなとき、なんとなく見ていたFacebookで一号店となるおうちごはん中島家の求人記事が目に飛び込んできたんです。条件面の記載は一切なく、そこには想いやビジョンだけが語られていました。そうしたら居ても立っても居られず就職が決まる前に食品メーカーを退職し、帰国後、即面接を受け採用していただいたんですよ。

Q：そのモヤモヤを解決されるために入社されたわけですね！晴れてお客さまのお顔をみながら仕事ができるようになったわけですが、それ以外にも入社して良かったな！と思うことはありましたか？



人間力が磨かれたところですね。中国にいた頃は、どちらかというと現地の方に接待される立場で素直になれない自分がいたんですよね。調子に乗っていたというか。それが飲食の仕事が初めてだったこともあって素直になれたんですよ。社長しかり、色んな先輩方の意見を取り入れられるようになったんです。そしてそこに次第に感謝の気持ちが芽生えていきました。

Q：素直になること。感謝の気持ちをもつこと。どちらも人の成長には欠かせない要素ですよね。ありがとうございます。今後の上田さんのビジョンはどのようなものでしょうか？

社長である中島が、今、京都の一大ブランドになるべく「おばんざいといえばutuwa」といってもらえるような会社になることをビジョンとして掲げています。掲げられた以上は、それを現実にすべく一丸となって達成したいと思っております。結果、utuwaに入ったおかげで成長できた！といってもらえるような会社になれば、と思っていますね。

Q：終盤ですが、ここで上田さんの思う飲食業の素晴らしさについてお聞かせください。

お客さまへ喜びを提供することで、その喜びが自分にも返ってくるところだと思います。まずは僕たちが中島や仲間たちと共に作った土台の上で幸せを感じながらお客さまへ幸せや喜びをお届けします。すると、お客さまにもそれが伝わって幸せになり心が豊かになります。さらにそれがシャンパンタワーのように伝わっていくわけですが、そのグラスの中には自分のグラスもあって、そのグラスを心に例えるならば、結果、幸せが自分に返ってくるんですよね。そこが素晴らしいところだと思います。

Q：ありがとうございます。最後になりますが読者の皆さまへメッセージをお願いします。

この仕事はAIではできない仕事だと思います。なぜならAIは心をもたないからです。心をもった相手を喜ばせることができるのは心をもった人間だけだと僕は思います。ですので「自分の目指しているものは素晴らしいものなんだ！」と誇りをもって、ご自身も豊かになっていただきたいと思います。